

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和4年10月12日)

[件 名]

- 鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について
【県民参画協働課】・・・ 2ページ
- 「とっとり県民の日（9月12日）」に係る各種取組の実施について
【県民参画協働課】・・・ 4ページ
- 第77回国民体育大会における鳥取県選手団の結果について
【スポーツ課】・・・ 6ページ
- 合同会社ひまわりとの中山間集落見守り活動に関する協定の締結について
【中山間地域政策課】・・・ 9ページ

地域づくり推進部

鳥取県の政策に関する県民意識調査の結果について

令和4年10月12日
県民参画協働課

「鳥取県令和新時代創生戦略」に掲げる政策をはじめ県政全般の満足度などについて県民にアンケートする「鳥取県の政策に関する県民意識調査」(第7回)を実施しましたので、その結果について報告します。

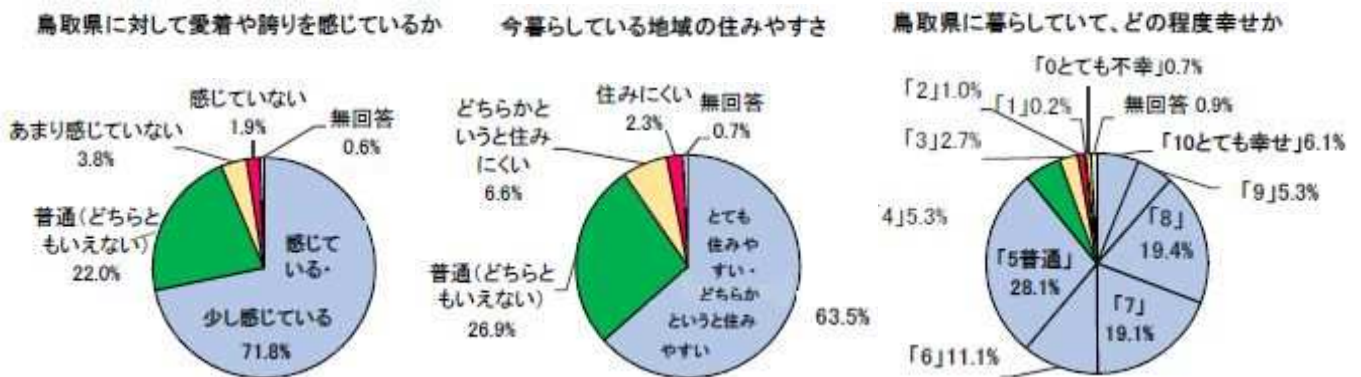
1 調査概要

- (1) 目的 県民の関心や意向、要望等の意識を把握するとともに、継続調査をすることで、その意識の変化を把握し、今後の県政推進の基礎資料として活用する。
- (2) 調査対象 県内在住の18歳以上75歳未満の者3,000名(住民基本台帳に基づく無作為抽出法)
- (3) 調査方法 郵送(回答は調査票の返送又は電子申請サービスによる回答のいずれかを選択)
- (4) 調査期間 令和4年6月30日から8月26日まで
- (5) 回答数 1,760名(1,760/3,000名 回答率:58.7%(令和3年度比3.9ポイントアップ))

2 結果概要

I 鳥取県の住みやすさ

- ①「鳥取県に対しての愛着や誇り」には、71.8%の人が「(愛着や誇りを)感じている」と回答し、「今暮らしている地域の住みやすさ」には、63.5%の人が「住みやすい」と回答した。いずれも高い水準ではあるものの、令和2年度からやや減少傾向にある。
- ②「鳥取県の暮らしに関してどう思うか」10項目について聞いたところ、「そう思う」との回答は「豊かな自然環境に恵まれている」が90.9%で7年連続で最も高く、さらに前年度から1.7ポイント増加した。
- ③鳥取県に暮らしていて、どの程度幸せか(10段階評価、10が「とても幸せ」)を聞いたところ、「5」(普通)が28.1%、次いで「8」が19.4%で、「5」以上の回答は89.1%と全体の約9割を占め、前年度(89.6%)に引き続き高い割合となった。



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度

(1) 鳥取県が実施している施策等に関し、①～③のテーマごとに満足度(5段階)及び今後の優先度(重要度が高い取組を3つ選択)について質問した。

①豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

7つの取組について聞いたところ、満足度は昨年度と比較して概ね横ばいで、今後優先すべき項目は「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が58.1%と最も多く、平成28年度から毎年度割合が増えている。

②人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

9つの取組について聞いたところ、満足度は昨年度と比較して概ね横ばいで、今後優先すべき項目は「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が49.0%と最も多く、前年度から4.4ポイント増えた。

③幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

9つの取組について聞いたところ、満足度は昨年度と比較して概ね横ばいで、今後優先すべき項目は「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が58.0%と、令和2年度から続いて最も多くなっている。

(2) 男女共同参画社会づくり

①男女に関する役割などについて

8つの項目について聞いたところ、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」「現実として介護が女性の役割となっていると思う」のいずれの項目も「そう思う（「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の計。以下同じ。）」の回答は、依然として70%以上の高い割合であるが、これらの3項目について「そう思う」の割合は年度ごとに減少傾向にある。

②男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策

8つの施策を提示したところ、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が60.9%と、4年連続で最も多かった。

(3) SDGs（持続可能な開発目標）の推進

①SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか

「聞いたことがある」は86.4%、「聞いたことがない」は13.0%であった。前年度と比較すると、「聞いたことがある」は13.5ポイントと大幅に増加し、令和2年度からこれまでで最も高く、「聞いたことがない」は13.0ポイントと大幅に減少した。

②SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題

「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が46.8%、「平和と安全・安心社会の実現」が41.3%と昨年度に引き続き上位を占めたほか、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」が昨年度より4.5ポイント増加した。

Ⅲ 重点施策への関心・認識 脱炭素社会を目指す取組について

①「脱炭素社会」をめざす取組は、あなたの生活を豊かにするか

「そう思う・ややそう思う」の計は49.3%、「そう思わない・あまりそう思わない」の計は15.6%であった。

②「とっとりエコライフ構想」を進めていくうえで、特に重要と考える施策

「森林の保全管理」が53.3%と最も多く、次いで「エコカー（電気自動車(EV)、プラグインハイブリッドなど）の普及促進」が35.5%、「企業等の省エネルギー化(LED照明、断熱)」が34.2%であった。

③電気自動車(EV)導入を促進するために必要と思うこと

「低価格化」が79.4%と最も多く、次いで「充電場所の拡充」が63.6%、「補助金の拡充」が49.4%であった。

④太陽光発電設備の設置時の初期費用が不要な「PPA（※1）」への関心度

「関心がある」は37.7%、「関心がない」は31.2%であった。

⑤とっとり健康省エネ住宅（NE-ST（ネスト）（※2））についての認知度・関心度

- ・とっとり健康省エネ住宅について、「聞いたことがない」が62.5%、「聞いたことがあるが、内容は知らない」が29.2%、「だいたいの内容を知っていた」が6.8%であった。
- ・また、「関心がある」は32.9%、「関心がない」は32.2%であった。

3 今後の活用

アンケート結果は、庁内各課と共有し、各種会議のほか、今後の施策の立案や評価・見直し等の過程において基礎資料として活用する。

※1 PPA：自宅の屋根を民間の発電事業者に貸し出して、事業者が太陽光発電設備を設置することにより、自宅の所有者が初期投資の費用負担ゼロで太陽光発電設備を設置し、発電電力を自家消費する契約制度

※2 とっとり健康省エネ住宅（NE-ST（ネスト））：国の基準を大幅に上回る鳥取県独自の住宅性能基準で、高断熱、高气密の家を実現することで光熱費を抑えることができるため、長期的（5～35年程度）に見れば工事費を含めても経済的であるほか、室温差が少ないことから冬季のヒートショックが起きにくく健康的に暮らせる基準

「とっとり県民の日（9月12日）」に係る各種取組の実施について

令和4年10月12日
県民参画協働課

9月12日の「とっとり県民の日」に合わせて、県民が鳥取県について学び、ふるさとに愛着と誇りを持っていただくため、民間事業者・市町村等と連携した各種取組を実施しましたので、概要を報告します。

1 イオンと連携した「とっとり県民の日」PRイベントの実施

- ・期 日 9月9日（金）～12日（月）
- ・場 所 イオンモール鳥取北、イオンモール日吉津
- ・内 容

場所	期間	内容
鳥取北店のみ	9/9（金）～11（日）	「食のみやこ鳥取県」特産品コンクール受賞商品及び民工芸品等の販売（食品：8事業者、民工芸：6事業者が出品）
	9/10（土）、11（日）	ステージイベント（10日：「ギフ鳥 ^(※) 」募集開始セレモニー、地域づくり団体による活動発表、とりアートと連携したダンスショー、11日：マジックショー）
日吉津店のみ	9/10（土）～12（月）	県民の日バルーンアートによる特設フォトスポット
両店舗	9/10（土）～12（月）	ふるさと鳥取PRパネル展

(※)「ギフ鳥」とは、ふるさと納税を活用して地域づくり団体を応援する「持続可能な地域づくり団体支援寄付金」の愛称。



県民の日フェア（鳥取北店）



県内活動団体によるステージイベント（鳥取北店）



県民の日バルーンアート（日吉津店）

県民の日関連イベント 「ギフ鳥」募集開始セレモニー（地域づくり団体による活動発表）

ギフ鳥の募集開始セレモニーの後、寄附先として登録した地域づくり団体（登録団体）が活動発表を行いました。（22の登録団体のうち12団体が参加）

<登録団体（22団体）>※①～⑳の団体が当日参加

- ①EN+ER企画、②ガールスカウト鳥取県第4団、③琴浦まちづくりネットワーク、
- ④(NPO)こども未来ネットワーク、⑤(一社)支え愛ネットながえ、
- ⑥(一社)里山生物多様性プロジェクト、⑦とっとり県美応援団、
- ⑧(NPO)鳥取・森のようちえん・風りんりん、⑨(NPO)花本美雄文化振興会、
- ⑩(NPO)ピアサポートつむぎ、⑪夢現の風、⑫(NPO)養生の郷、
- ⑬(一社)アートスペースからふる、⑭(NPO)いんしゅう鹿野まちづくり協議会、
- ⑮(NPO)智頭の森こそだち舎、⑯(NPO)トラベルフレンズ・とっとり、
- ⑰(NPO)鳥の劇場、⑱(NPO)南部町総合型地域スポーツクラブ、
- ⑲Frontier School、⑳ほこてん商会実行委員会、㉑(NPO)まちアートとっとり、㉒(NPO)未来



募集開始セレモニー（イオン鳥取北）

2 県内スーパーマーケットと連携した「とっとり県民の日」フェアの実施

- ・協力事業者 イオン、エスマート、岡田商店、サンマート、JA鳥取中央（直売所）、スーパーマルワ、東宝ストア、トスク、鳥取西部JAショップ（Aコープ）、フーズマーケットホック、マルイ、まるごう 計12社 91店舗（参考：昨年度10社 56店舗）
- ・実施内容 知事メッセージによる県民の日フェアの開催案内をチラシに掲載、県産物の特設コーナーの設置、県民の日のぼり掲出など ※店舗によって異なる

3 公文書館等と連携した取組

(1) 公文書館での企画展「鳥取県ができるまで」の開催

- ・期 間 9月9日（金）～9月29日（木）
- ・場 所 公文書館及び県立図書館との共通路
- ・内 容 明治2年の版籍奉還から鳥取県の誕生、島根県への合併、鳥取県の再置、再置後の県政及び明治30年代の府県の再編計画について、写真、公文書等を利用して紹介した。

(2) 県立図書館での企画展「9月12日はとっとり県民の日 もっと知りたい“鳥取力”」の開催

- ・期 間 9月1日(木)～9月29日(木)
- ・場 所 県立図書館 2階 郷土資料室ギャラリー
- ・内 容 日本海新聞連載記事「ととりの底力」や鳥取で制作されている情報マンガ(ヒト・モノ・コト)などを紹介する展示を行い、鳥取県の多方面分野の活躍を紹介した。

(3) 市町村立図書館及び高等学校図書館等における「とっとり県民の日」のパネル展示

鳥取市立中央図書館、北栄町図書館、米子東高等学校など 9月の展示件数：14ヵ所

4 県内学校等と連携した取組

(1) 学校での「とっとり県民の日」一斉取組の実施

小中高校・義務教育学校・特別支援学校の児童・生徒が、ふるさと鳥取県について考える機会を設けた。(県民の日リーフレット配布(217校)の他、小冊子「鳥取県ができるまで」を小学6年生に配布(131校))

<取組(例)>

県民の日リーフレット等を活用し、ホームルーム等の時間を利用して鳥取県誕生の経緯や県民の日の趣旨説明、鳥取県クイズなどが行われた。

(2) 学校給食での「とっとり県民の日」地産地消メニューの提供

学校給食を提供する県内の小中学校、義務教育学校、特別支援学校(180校)において、9月12日前後に、県特産の二十世紀梨や地域色を生かした地産地消メニューを提供した。

<取組(例)>

9月12日(月)琴浦町立船上小学校で提供された学校給食：鳥取県特産のブランド豚「大山ルビー」のソテー、二十世紀梨の入ったナムル、地元トマトの入った洋風のみそ汁など

(3) ふるさと「とっとり」講師の派遣

児童・県民等に鳥取県の歴史や地域の魅力を伝え、ふるさとへの理解を高めるため、専門的な知識を有する講師を学校等に派遣した。9月末までの実施回数：計11回(参考：昨年度9回)

<取組(例)>

期日	場所	参加者	講師	内容
9月8日(木)	琴浦町立 八橋小学校	小学3年生 28人	田村 昭夫 氏	レッツ八橋探検隊 ～琴浦町の地域の文化財や魅力を学ぶ～

5 県政広報媒体での広報展開

県政だより(9月号)、日本海新聞広告(9月7日：半5段)で広く県民に広報を行った。

6 県内施設の無料開放・料金割引

県民の日条例による県立施設の無料開放を行った。また、県民の日の趣旨に賛同した市町村立施設等が無料開放等を行った。 ※実施期間は施設によって異なる

(1) 無料開放施設 22施設(県立11、市町村立11)

とっとり花回廊、ヤマタスポーツパーク、鳥取産業体育館、県営鳥取屋内プール、県立博物館、倉吉体育文化会館、東郷湖羽合臨海公園、二十世紀梨記念館(なしっこ館)、米子産業体育館、県営東山水泳場、県立武道館、鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、鳥取市河原町お城山展望台、鳥取市流しびなの館、因幡万葉歴史館、仁風閣、鳥取市武道館、鳥取市弓道場、鳥取市千代テニス場、鳥取市城北テニス場、鳥取童謡館・鳥取世界おもちゃ館(わらべ館)、米子市皆生市民プール

《参考：主な施設の無料入館者数》

とっとり花回廊 1,168名 / 二十世紀梨記念館 343名 / 鳥取童謡館・鳥取世界おもちゃ館 273名

(2) 利用料割引施設 2施設(県立1、町立1)

チュウブ鳥取砂丘こどもの国(半額)、青山剛昌ふるさと館(100円引き)

第77回国民体育大会における鳥取県選手団の結果について

令和4年10月12日

スポーツ課

栃木県で開催された第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に参加した本県選手団の成績について報告します。

(R2、3の国体が延期、中止となったため3年ぶりの開催となりました。)

1 概要

(1) 参加者数

・本部役員17名(前回19名) ・監督、選手、トレーナー325名(前回323名)

(2) 成績

・正式競技37競技の鳥取県選手団獲得得点679.5点(参加得点400点、競技得点279.5点)

前回714点(参加得点400点、競技得点314点)

・男女総合成績(天皇杯)44位(前回43位)、女子総合成績(皇后杯)40位(前回27位)

2 総括

○天皇杯順位は44位であり前回から1つ順位を下げた。さらには、第69回長崎国体以降6年連続となる競技得点300点以上を獲得していたが、今回は300点に到達せず、また、順位は目標としている30位台には届かなかった。

・会期前の水泳、弓道、ビーチバレーボールが入賞し、その後の各競技選手団にとっての励みとなった。

・相撲では47.5点の高得点を獲得し、少年男子は個人でも1位から5位を独占するという快挙を成し遂げた。

・ボートでは、東京オリンピック出場の富田選手が優勝し、ジュニアアスリート出身が多い少年男女では4種目の入賞となった。

・スポーツクライミングでは、旗手を務めた高田選手と河上選手がリード種目で3位となり、全体で30点獲得した。

・カヌーの福本選手が6連覇を達成し、2種目で2冠を達成という見事な成績を収めた。

・レスリング・セーリング・ライフル射撃・自転車・馬術は前回茨城国体に続き連続入賞を果たした。

・ボクシングはジュニアからの育成の結果が出ており、木下選手が優勝、少年で3種目入賞となった。

・成年種別は今回134.5点獲得し、5年連続の100点越えを果たした。本国体出場まであと一步の位置にいるソフトボールやサッカーなど、高得点を望むことができる団体種目の強化も重点的に強化していく必要がある。

○今後、環境整備に一層取り組むとともに、ジュニア育成をしっかりと行いつつ、成年にうまく繋げ、本県が目標とするところの競技得点390点以上の獲得、天皇杯順位30位台の定着に向けて努力していく。また、11年後の2033年の鳥取国民スポーツ大会に向けて強化策を検討していく。

3 年度別競技得点及び総合成績

区分	69回(H26) 長崎	70回(H27) 和歌山	71回(H28) 岩手	72回(H29) 愛媛	73回(H30) 福井	74回(R1) 茨城	77回(R4) 栃木
少年	238.0	220.0	204.25	197.0	181.75	164.5	143.0
成年	152.0	102.5	149.25	154.5	169.25	149.5	136.5
合計	390.0	322.5	353.5	351.5	351.0	314.0	279.5
男女総合成績	38位	40位	42位	42位	40位	43位	44位
女子総合成績	31位	30位	27位	30位	38位	27位	40位

4 競技別競技得点 ※スキー競技は第77回国体冬季大会の記録

競技名	競技得点	入賞種目数	順位							
			1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
陸上	11	2		1			1			
水泳	34.5	7	2	1	1			1	1	1
ボート	38	5	1			1	1	1	1	
ボクシング	15.5	4	1				3			
ビーチバレーボール	10.5	1					1			
レスリング	7.5	3					3			
セーリング	23	3		1		1				1
自転車	2	1							1	
相撲	47.5	2	1				1			
馬術	4	1					1			
弓道	24	1	1							
ライフル射撃	5	1				1				
スポーツクライミング	30	2			1		1			
カヌー	18	3	2						1	
アーチェリー	6	1							1	
トライアスロン	1	1								1
スキー ※	2	1							1	
合計	279.5点	39種目	8	3	2	3	12	2	6	3

5 入賞状況(別表のとおり)

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」入賞者一覧

会 期	《冬季大会》	スケート競技（栃木県） アイスホッケー競技（栃木県） スキー競技（秋田県）	令和4年1月24日(月)～ 1月28日(金) 令和4年1月26日(水)～ 1月30日(日) 令和4年2月17日(木)～ 2月20日(日)
	《会期前》	4競技（栃木県）	令和4年9月10日(土)～ 9月19日(月)
	《本大会》	35競技（栃木県）	令和4年10月1日(土)～10月11日(火)

※会期前と本大会で1競技重複 開催競技は40競技

競 技 名	種 別	種 目	順位	競技得点	個 人 ・ 団 体 名 （ 所 属 ）	
陸上競技	成年男子	やり投	2	7	石坂 力成（鳥取県スポーツ協会）	
	少年男子 共通	800m	5	4	國森 郁光（鳥取東高校3年）	
水泳	競泳	成年男子	100m平泳ぎ	3	5.5	武良 竜也（ミキハウス）
		少年女子A	200m背泳ぎ	7	2	宮城 歩優（鳥取城北高校3年）
		少年女子B	100m背泳ぎ	8	1	上杉 凜（福米中学校3年）
	飛込	成年女子	飛板飛込	1	8	三上 紗也可（日本体育大学3年）
		成年女子	高飛込	6	3	安田 舞（日本体育大学2年）
		少年女子	高飛込	1	8	佐々木 音華（米子東高校2年）
飛板飛込	2		7			
ボート	成年女子	シングルスカル	1	8	富田 千愛（東京大学RSL）	
	少年男子	シングルスカル	5	4	佐々木 静基（米子工業高校2年）	
		ダブルスカル	6	9	竹山 楓人（鳥取城北高校3年） 大畑 奏輔（鳥取城北高校2年）	
	少年女子	シングルスカル	7	2	三中 心花（鳥取城北高校3年）	
		ダブルスカル	4	15	杉原 春菜（米子西高校3年） 齋木 陽南子（米子西高校3年）	
	ボクシング	成年女子	フライ級	1	8	木下 鈴花（日本体育大学4年）
少年男子		ピン級	5	2.5	二木 厚希（米子松蔭高校3年）	
		フライ級	5	2.5	中谷 維吹（八頭高校2年）	
		ミドル級	5	2.5	川端 響喜（米子高校2年）	
ビーチバレーボール	少年女子		5	10.5	藤田 玲亜（米子西高校2年） 中野 咲（米子西高校2年）	
レスリング	成年男子	フリースタイル 125kg級	5	2.5	山口 浩一（神奈川大学4年）	
		グレコローマンスタイル 77kg級	5	2.5	前田 祐也（鳥取中央育英高校）	
		グレコローマンスタイル 97kg級	5	2.5	磯江 大成（日本体育大学1年）	
セーリング	成年男子	レーザー級	2	7	瀬川 和正（鳥取県スポーツ協会）	
	成年女子	セーリングスピリッツ級	4	15	池淵 砂紀（鳥取県地域づくり推進部スポーツ課） 西元 雫（龍谷大学3年）	
	少年男子	レーザーラジアル級	8	1	山崎 朝陽（米子高等専門学校3年）	

競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)		
自転車競技	少年男子	スプリント	7	2	井上 功志(倉吉西高校3年)		
相撲	成年男子	団体	5	7.5	西郷 智博(鳥取県地域づくり推進部スポーツ課)		
					中島 望(日本大学)		
	谷本 将也(鳥取城北高校)						
	古関 拓道(日本大学3年)						
	少年男子	個人	5	-	落合 哲也(鳥取県相撲連盟)		
					中島 望(日本大学)		
	団体				1	40	アルタンゲレルソソルファー(3) 成田 力道(3)
							河本 優聖(3) 成松 祐乃介(3)
							松井 奏風人(3) 新阜 琳太郎(3)
		松田 天(2) (鳥取城北高校)					
個人	1	-	成田 力道(鳥取城北高校3年)				
			2	-	アルタンゲレル・ソソルファー(鳥取城北高校3年)		
			3	-	成松 祐乃介(鳥取城北高校3年)		
			4	-	松井 奏風人(鳥取城北高校3年)		
			5	-	河本 優聖(鳥取城北高校2年)		
馬術	成年男子	トップスコア	5	4	山本 一(ポニースマイル)		
弓道	少年男子	近的	1	24	福留 壮和(米子工業高校3年) 漆原 稜大(倉吉西高校3年) 室山 翔音(倉吉西高校2年)		
ライフル射撃	成年男子	AP60	4	5	影井 弘雄(埼玉県警察)		
スポーツ クライミング	成年男子	リード(団)	3	18	高田 知堯(鳥取県スポーツ協会)		
		ボルダリング(団)	5	12	河上 紘輝(鳥取県スポーツ協会)		
カヌー	成年女子	スラローム K-1	15G	7	2	福馬 つばさ((株)ネオキャリア)	
		ワイルドウォーター K-1	1500m	1	8	福本 かな子(米子白鳳高校)	
			スプリント	1	8		
アーチェリー	少年女子		7	6	樋口 ころろ(米子南高校3年) 佐々木 菜緒(倉吉農業高校3年) 塚口 あかね(米子西高校2年)		
トライアスロン	成年女子		8	1	池口 いずみ(日本体育大学4年)		
計				277.5			

【入賞者数】 16 競技44種目54人 (昨年は15競技41種目65人) ※人数は実人数

冬季競技

競技名	種別	種目	順位	競技得点	個人・団体名(所属)
スキー	成年男子C	クロスカントリー	7	2	三好 孝文(陸上自衛隊米子駐屯地)

合同会社ひまわりとの中山間集落見守り活動に関する協定の締結について

令和4年10月12日
中山間地域政策課

中山間地域に暮らす高齢者など住民の安全・安心な暮らしを守るため、合同会社ひまわり、日野町及び鳥取県は、中山間集落見守り活動に関する協定を締結し、次のとおり締結式を行いましたので、報告します。

- 1 日 時 令和4年9月28日（水）午前10時から
- 2 場 所 日野町役場大会議室（日野郡日野町根雨101）

3 出席者

合同会社ひまわり 代表社員 高田 昭徳（たかた あきのり）氏
日野町 町長 埜田 淳一（さこだ じゅんいち）氏
鳥取県西部総合事務所日野振興センター所長 栃本 義博



4 協定内容

(1) 見守り活動の内容等

対象地域において、社員等が事業活動時に高齢者等の異常等を発見した際に日野町へ連絡する。
[対象地域] 日野町のうち、事業者が日常的に業務を行う地域

(2) 協定期間

令和4年9月28日から令和5年9月27日までの1年間
(以後、協定締結者から終了の意思表示がなければ1年間更新)

【参 考】

1 協定締結の状況

今回の協定締結により計77事業者となる。

2 見守り活動の通報事例

- ・高齢者宅を訪問すると火災報知器が鳴っていた。火の元を確認したが火災はなく、誤感知だった。
(H28 日野町)
- ・移動販売車で移動中、玄関先で倒れていると通報があり、役場職員が訪問し、近くの病院へ搬送。
(R2年 日野町)